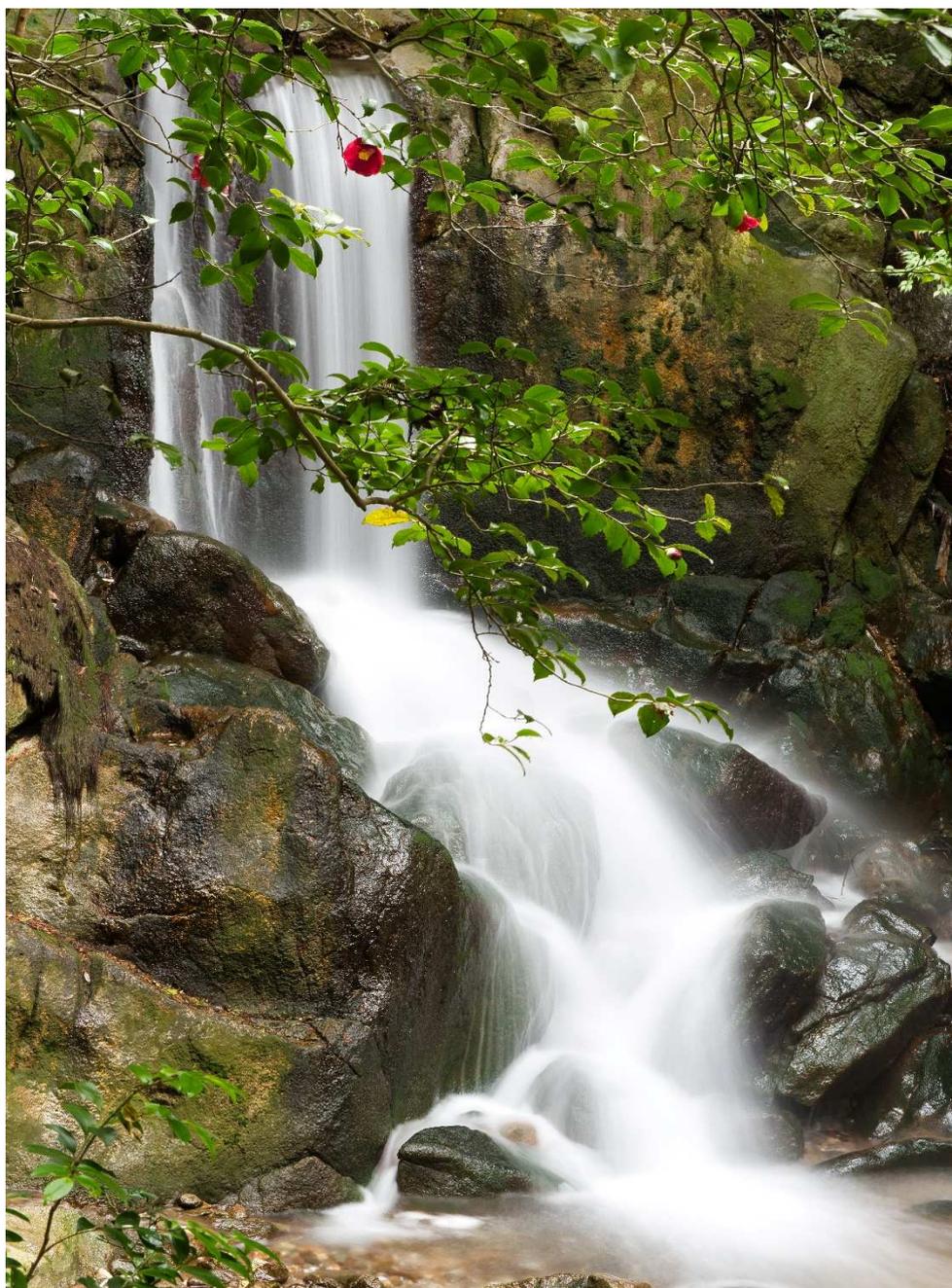


知っておきたい 雲仙市のしごと



‘つながり’で創る 賑わいと豊かさを実感できるまち



長崎県 雲仙市

はじめに

雲仙市では、市が1年間にどれだけの予算を使って、どのような事業を実施しようとしているのかを市民のみなさんにお伝えするため、令和6年度予算説明書「知っておきたい雲仙市のしごと」を作成しました。

本書では、各会計別の予算の概要をはじめ、雲仙市総合計画の5つの基本方針に基づく今年度の主要事業などの内容について、写真やイラストを多く使用することにより、できるかぎり読みやすく、分かりやすい内容に努めて作成しています。

本書により、市民のみなさんが雲仙市の予算を身近に感じていただき、よりよいまちづくりのための議論の一助として有効にご活用いただければ幸いです。

財務部 財政課

雲仙市総合計画

将来像

“つながり”で創る 賑わいと豊かさを実感できるまち

基本方針

- ① 暮らしと安心
- ② 産業と交流
- ③ 社会基盤と環境
- ④ 人財と郷土
- ⑤ 協働と戦略

知っておきたい雲仙市のしごと もくじ

1	令和6年度雲仙市当初予算の概要	3
	雲仙市の予算を見てみよう	4
	一般会計の歳入	6
	一般会計の歳出	8
	市民1人あたりに使われるお金	10
	現在の財政状況と今後の財政運営	12
2	令和6年度主要事業	14
	①暮らしと安心の事業	15
	②産業と交流の事業	20
	③社会基盤と環境の事業	24
	④人財と郷土の事業	35
	⑤協働と戦略の事業	37
3	ゼロ予算事業	40
4	資料編	42
	(1) 雲仙市の通知表(県内13市財政状況比較表)	43
	(2) 地方消費税交付金(社会保障財源化分)を財源とした 社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費	44
	(3) 「ふるさと納税寄附金」の使い道	45

1 令和6年度雲仙市当初予算の概要



雲仙市の予算を見てみよう

令和6年度の雲仙市当初予算の全会計の合計は、

421億7,850万円 です。

雲仙市の会計は、一般会計、特別会計、企業会計の3種類の会計があります。

お財布に例えると、使いみちや収入源の違う3種類のお財布があり、決められたルールにしたがってお金の出し入れをしています。



一般会計 基礎的な行政サービスを行うための会計

309億
7,619万円

一般会計とは、教育・福祉・まちづくりなど、市の基礎的な行政サービスを行う会計です。

市民税や固定資産税など、市民のみなさんが納める市税は、主にこの一般会計の各種事業に使われています。

特別会計 特定の事業を行うための会計

75億
2,198万円

特別会計とは、法律の定めなどにより、特定の事業を行うためのお金の管理を一般会計と区別している会計です。

雲仙市には、5つの特別会計があります。

国民健康保険特別会計・・・67億7,674万円 後期高齢者医療特別会計・・・6億4,654万円

国民宿舎事業特別会計・・・・・・・・4,721万円 温泉浴場事業特別会計・・・・・・・・1,879万円

企業誘致用地整備事業特別会計・・・3,270万円

企業会計 事業の収益で運営している会計

36億
8,033万円

企業会計とは、一般会計や特別会計と異なり、事業を行うことによって得られた料金などの収益で運営している会計です。

水道事業会計・・・・・・・・19億555万円

下水道事業会計・・・・・・・・17億7,478万円

(※両事業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額です。)

雲仙市の特別会計・企業会計

国民健康保険特別会計

自営業の人、農家の人、会社を退職した人およびそれらの人に扶養されている人などが病院などにかかった場合の医療費について、本人負担額の残りの費用の支払いを行う会計です。



後期高齢者医療特別会計

主に75歳以上の人がかかった場合の医療費について、本人負担額の残りの費用の支払いを行う会計です。



国民宿舎事業特別会計

国民宿舎「望洋荘」の管理を行うための会計です。



温泉浴場事業特別会計

市営共同浴場「浜の湯」の管理を行うための会計です。



企業誘致用地整備事業特別会計

企業誘致のための用地として、土地の購入や水道などのインフラ整備を行うための会計です。



水道事業会計（企業会計）

安定した飲料水の供給のために、配水管の工事や設備の維持管理を行うための会計です。



下水道事業会計（企業会計）

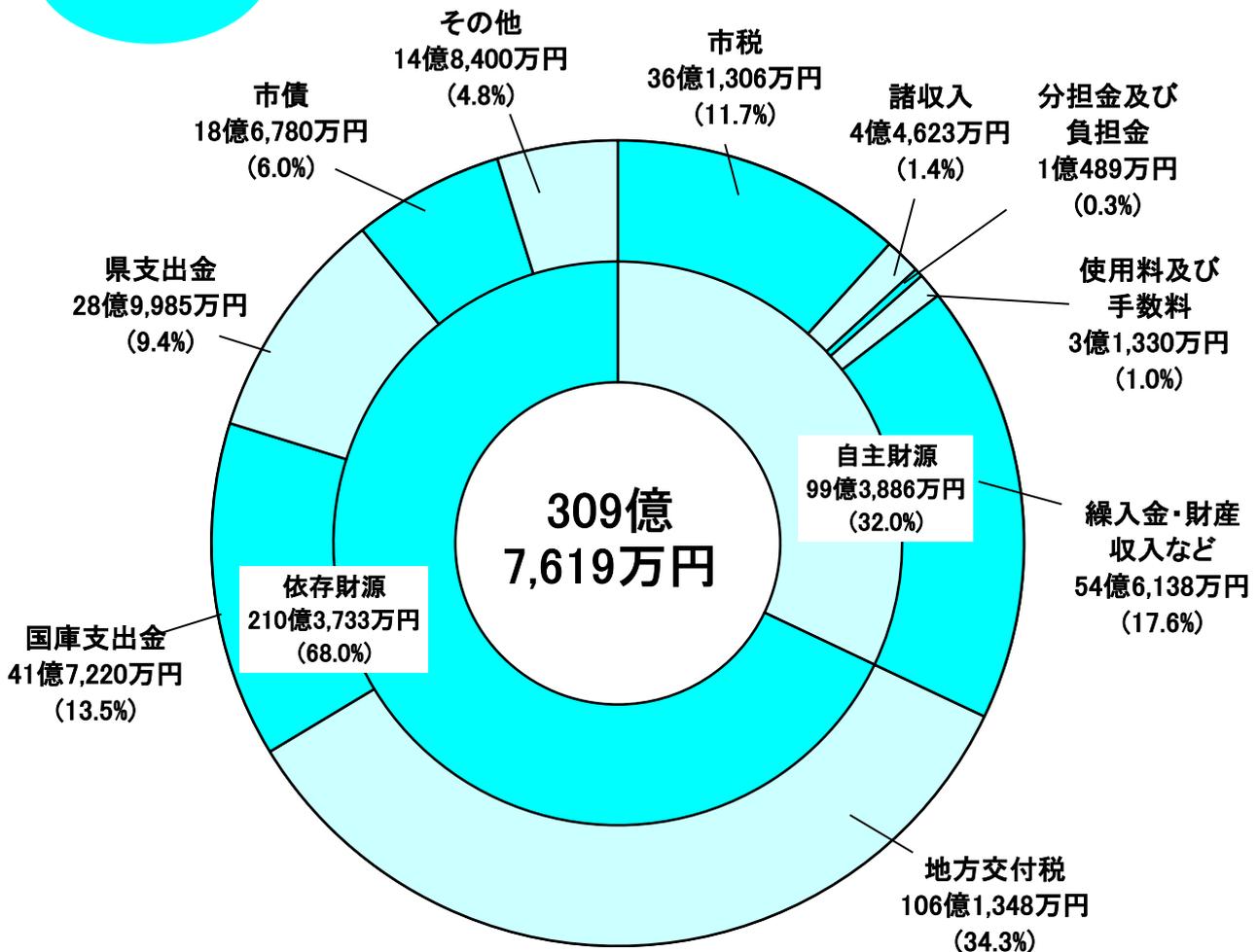
下水道施設の整備や施設の維持管理を行うための会計です。

- 公共下水道
- 特定環境保全公共下水道
- 農業集落排水処理
- 小規模集合排水処理
- 特定地域生活排水処理



一般会計

歳入



Q. 予算とは？

A. あらかじめ計算した1年間の収入・支出の予定額のことです。



予算には、1年間のお金の使い方を決める「当初（通常）予算」のほか、当初予算では予測できなかった事などを行うために予算の追加や変更を行う「補正予算」があります。

歳入（収入）・歳出（支出）については、「一会計年度の収入のなかでその会計年度の支出をまかなう」と法律で定められていますので、会計年度のなかで計画的に運営する必要があります。

※一会計年度・・・4月1日から翌年3月31日までの期間

【自主財源】 — 市が独自に収入できるお金 —

- 市税……………個人や会社の所得に応じて支払う市民税や、土地や建物を所有する人が支払う固定資産税など、市民のみなさんが市に支払う税金
- 諸収入……………貸付金元利収入や宝くじ配分金など他の歳入科目に属さないお金
- 分担金及び負担金……………市が行う事業などにより、特に利益を受ける人から徴収するお金（老人ホーム入所者や保育所の保護者負担金など）
- 使用料及び手数料……………市のホール・体育館や市営住宅などの公共施設の使用料や、住民票の交付手数料など
- 繰入金・財産収入……………各種基金（貯金）の取り崩しなどにより繰り入れるお金や、市が所有する財産（土地など）を貸し付けたり、売り払ったりすることなどにより得るお金

【依存財源】 — 国や県からもらうお金や銀行などから借りるお金 —

- 地方交付税……………国民が一定水準の行政サービスを公平に受けられるよう、所得税や酒税などの国税の一部をもとに、市の人口規模などに応じて国から交付されるお金
- 国庫支出金……………国が認めた特定の事業などに対して国から交付されるお金
- 県支出金……………県が認めた特定の事業などに対して県から交付されるお金
- 市債……………道路整備といった建設事業などを行うために、国や銀行などから借り入れるお金

Q. 予算はどのようにして決まるの？

A. ①～⑦の順序に従って事務が行われ、予算が成立します。



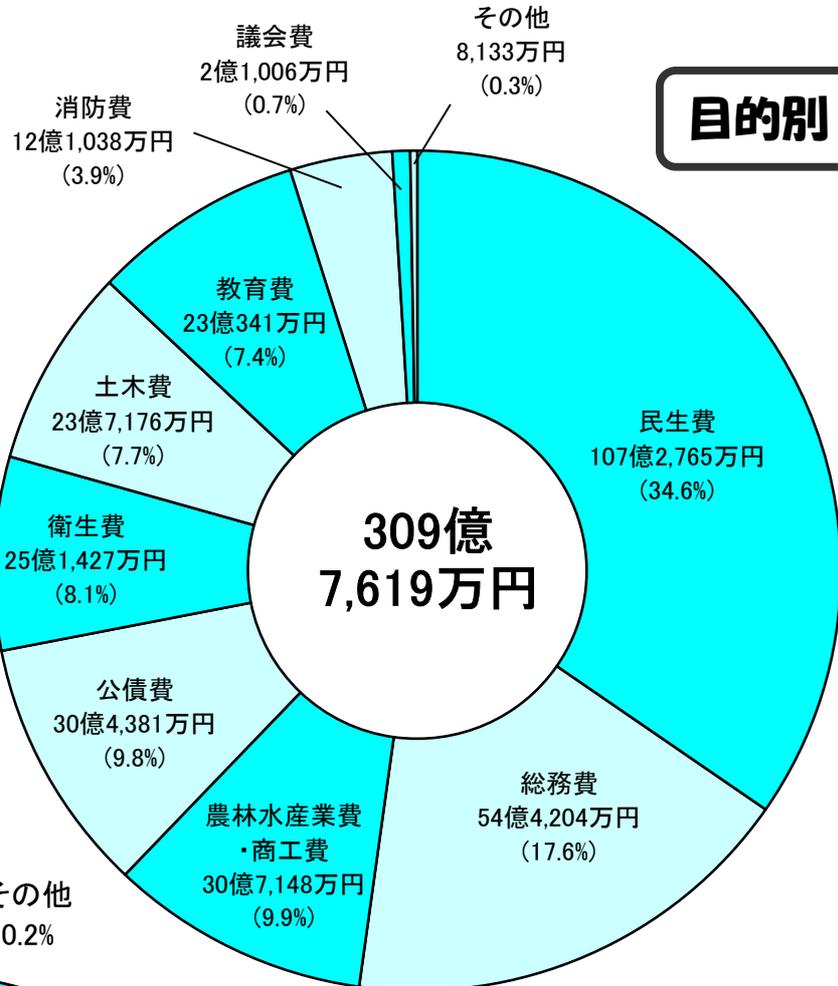
①予算編成方針の作成（10月下旬頃）→②各部局が要求書を提出（11月中旬頃）→③査定（11月下旬～1月）→④予算案の作成（2月上旬頃）→⑤議会への提出（2月下旬頃）→⑥議会の議決（3月下旬頃）→⑦成立

①まず、次の1年間に何をするか、基本的な考え方を財政課が提案します。②次に、①をもとに各部局が新規・継続・廃止の事業を決めて必要な金額を計算します。③④要求された予算について、財政課が各部局の担当者へ聴き取りを行い、財政状況、事業の必要性・効率性などの見地から審査を行います。その後、財務部長・副市長・市長の審査を受け、予算案を作成します。⑤⑥⑦市議会での議論を経て最終的に決定されます。

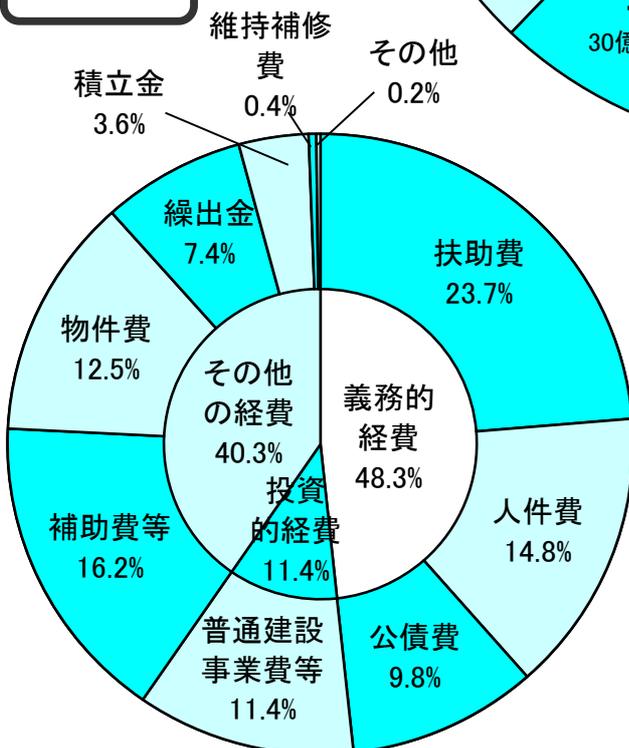
歳出

一般会計

目的別



性質別



-
- 民生費……………福祉サービスのために使われるお金
(高齢者・障がい者の支援、保育施設などへの給付など)
 - 総務費……………基礎的な行政活動や企画調整などのために使われるお金
(自治会活動の支援、移住定住、市有地・建物の管理、選挙経費など)
 - 農林水産業費……農業・林業や水産業の振興のために使われるお金
(農道や用水路、漁港の整備、基盤整備、後継者の育成、稚魚放流への補助など)
 - 商工費……………商業振興や観光などのために使われるお金
(中小企業者への資金貸付、企業誘致、観光イベント開催補助など)
 - 公債費……………過去の建設事業などのために借り入れた市債(借金)返済のために使われるお金
 - 教育費……………学校教育や生涯学習・スポーツ振興などのために使われるお金
(小中学校やホール、スポーツ施設の運営・管理、各種講座・講演会の開催、文化財の保護など)
 - 土木費……………道路・水路や公園の整備などのために使われるお金
(道路の新設・改良、河川改修、市営住宅の管理など)
 - 衛生費……………健康づくりや環境衛生などのために使われるお金
(健康診断、予防接種、ごみ処理などの費用)
 - 消防費……………消防・防災のために使われるお金
(消防署運営費の負担、消防団の活動費用、防火水槽の整備など)
 - 議会費……………議会運営のために使われるお金

Q. 目的別歳出、性質別歳出とは？

A. 行政目的から見た歳出、経済的性質から見た歳出のことです。



【義務的経費】

職員や議員などの人件費、借金の返済、福祉、医療など、毎年支払う必要があるお金

【投資的経費】

学校、道路、庁舎などの整備や災害復旧にかかるお金

【その他の経費】

特定の事業を支援するための補助金など上記以外の市民サービスに必要なお金

市民1人あたりに使われるお金

令和6年3月31日現在、雲仙市の人口は、40,935人です。

一般会計予算について、市民1人あたりに、どれくらいのお金が使われるのか表してみました。

民生費

(福祉サービス)

26万2,070円



農林水産業・商工費

(農業、林業、水産業など)

7万5,030円



公債費

(市債返済)

7万4,360円



衛生費

(健康づくり、環境衛生など)

6万1,420円



市民1人あたり総額

75万6,720円

土木費

(道路、水路、公園整備など)

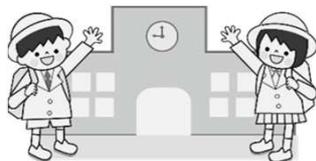
5万7,940円



教育費

(学校教育、スポーツ振興など)

5万6,270円



その他

(行政運営、消防・防災など)

16万9,630円



雲仙市の人口

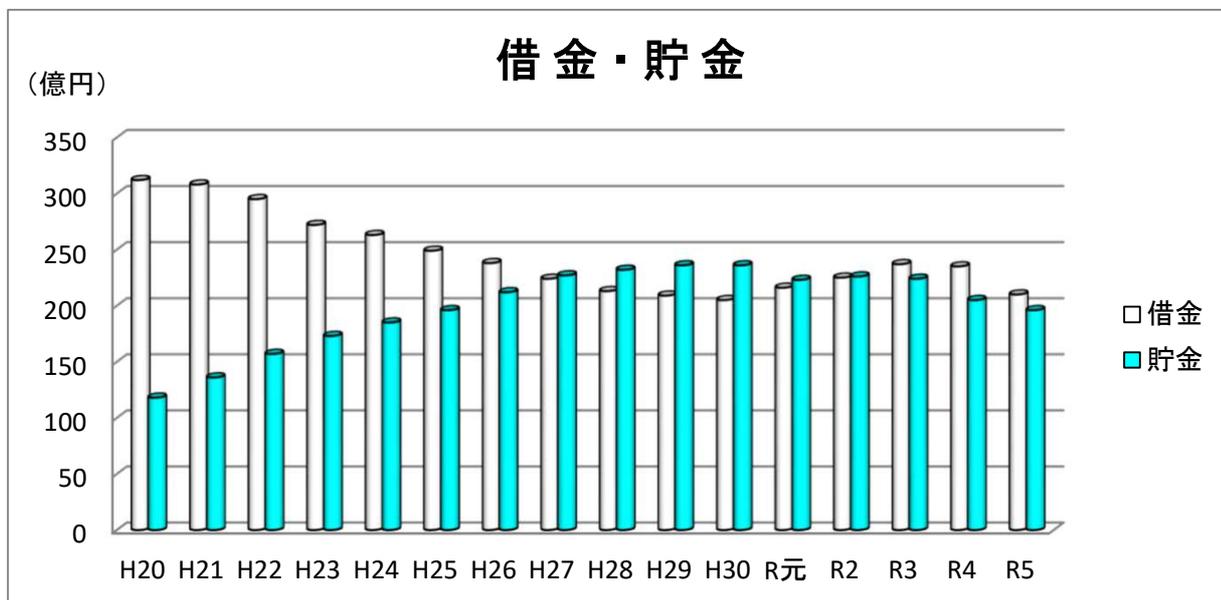
(令和6年3月31日現在)

男性 19,543 人

女性 21,392 人

合計 40,935 人

雲仙市の借金と貯金



※H19～R4は決算、R5は決算見込みの金額

市民1人あたりの借金
51万1,836円

市債

市債(地方債)と言われるものですが、自治体が学校・道路・橋などを整備する資金を調達するために、国や銀行から借り入れるお金です。多額の出費がある場合や、将来の世代にも経費を負担させることが公平な場合などに借り入れることができます。

市民1人あたりの貯金
48万17円

基金

積立金(基金)と言われるものですが、一般の家庭において、出産や進学などに備えて積み立てておく貯金と基本的には同じもので、特定の目的や将来の出費などに備えて蓄えています。

〈雲仙市の予算の特徴〉

本市では、健全な財政運営を目指して、借金の残高を出来る限り増やさないようにしつつ、将来の出費などに備えるために計画的に運営にあたっています。

借金(市債)については、繰り上げ償還(返済期日より早く返すこと)などにより、残高の抑制に努めています。また、合併特例事業債などの市債は、返済額のうち一定額を国から交付してもらえらる有利な市債です。市では、そういった市債の割合を多くして、実質的な負担が少なくなるように努めています。

一方、貯金(積立金)については、継続的に運用益を積み立てており、財政規模に対する貯金の割合は、県内他市と比較すると多い方に位置しておりますが、令和元年度に初めて減少しました。このままの状況でいきましたら、基金が枯渇する恐れがあることから、基金を取り崩さずに財政運営ができるよう、徐々に歳出予算規模を縮小していくこととしております。



～ バランスのとれた収入と支出を目指して ～

雲仙市の収入のほとんど（約7割）は、国や県からもらう補助金や地方交付税などになります。その中で、最も大きな収入の「普通交付税」は、合併した市の特例として、15年間（平成18年度から令和2年度まで）は、他の同じような市より多くもっていました。

多くもっていた期間には、特例が終了した後に収入が不足する場合に備えて、収入のうち支出を上回った分のお金を貯金していましたが、令和元年度には収入の不足が発生し、それから毎年、貯金を使って収入不足を補いながら、市の運営を行っています。

今のまま、貯金を使いながら運営をしていくと、約10年後には、貯金が無くなってしまいます。

なお、市や県などの地方公共団体では、国のように収入不足を埋めるための借金はできないことになっています。

収入不足は、貯金で補うしかありませんので、市として運営していくためには、貯金が無くなってしまう前に、収入を増やすか、支出を抑えていくしかありません。

貯金が無くなってしまいう直前や無くなってしまってから、市民の皆さんへのサービスを急激に低下させてしまうことは、避けなければいけません。そうならないためには、今のうちから、収入に見合った支出にしていくために、収入を増やしたり、支出を抑えたりする必要があります。

また、雲仙市は、7つの町が合併してできた市ということもあり、他の同じような市と比べると、道路や公共施設が多く、それらの維持管理や改修などの費用が、今後、多くかかってくるが見込まれます。

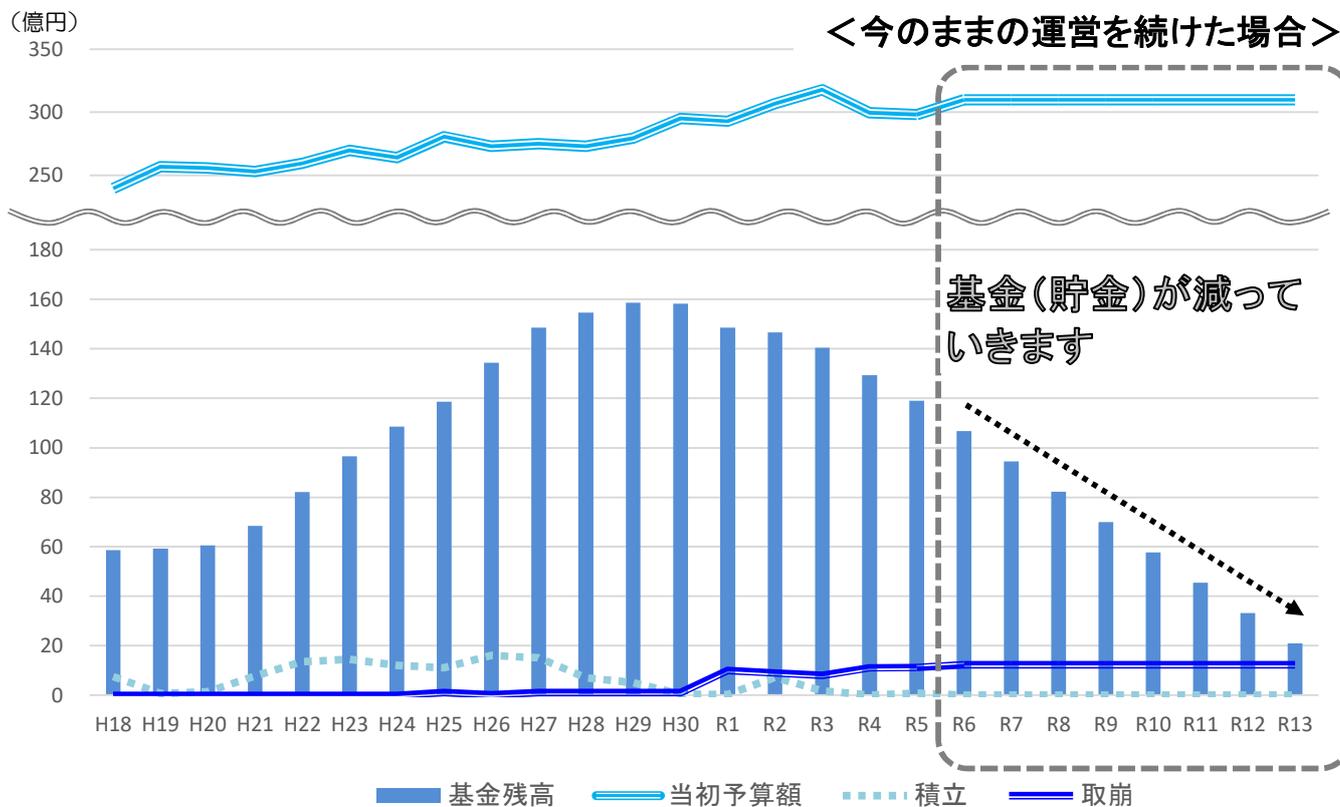
そのようなことから、雲仙市の将来を見据え、公共施設を統合したり、削減していくことなどを進めるとともに、事業の見直し（統合、段階的削減、廃止など）などを計画的に進めていくことにしています。

<解説>

※地方交付税には、普通交付税と特別交付税があり、普通交付税は、全国一律の基準に基づいて計算した額をもらうもので、特別交付税は、地域の特別な事情に応じた額をもらうもの。

※雲仙市がもらった普通交付税の額は、平成25年度に約127億円だったものが、令和5年度には、約109億円になっています。

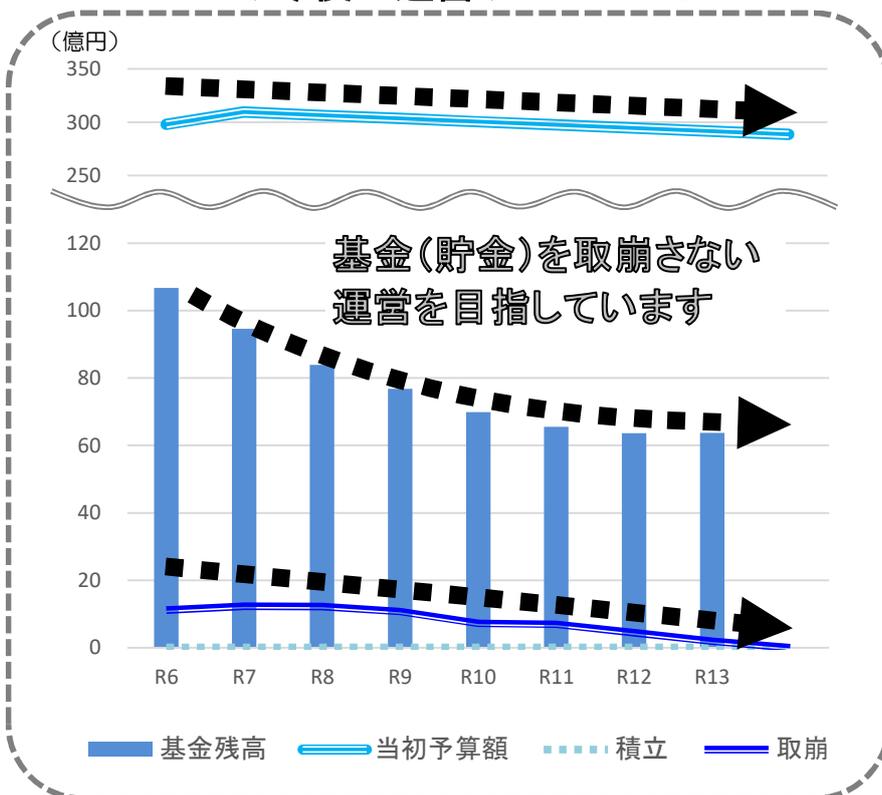
当初予算額と基金（貯金）の推移



※ここでいう「基金（貯金）」とは、主に収入不足を補うための基金（財政調整基金、減債基金）のことです。



＜今後の運営＞



2 令和6年度主要事業

●雲仙市総合計画の5つの基本方針

本市では、「“つながり”で創る 賑わいと豊かさを実感できるまち」を将来像として、その実現化のために以下の5つの基本方針を設定し、それに沿って様々な事業に取り組んでいます。令和6年度に実施する主な事業について、各方針別にご紹介します。

- ①暮らしと安心 …… 安心して子どもを産み育てるまちづくりと健康で安全な暮らしづくり
- ②産業と交流 …… 雇用を生み出す産業づくりと人を呼び込む観光地域づくり
- ③社会基盤と環境 …… 社会基盤の整備と自然環境と調和したまちづくり
- ④人財と郷土 …… 将来を担う人財づくりと歴史と文化が輝く郷土づくり
- ⑤協働と戦略 …… 市民一人ひとりが主役の協働のまちづくりと効率的で戦略性をもった行財政運営



(担当：地域振興部 地域づくり推進課)

本市に住んでいる人や、これから住みたい人のための支援を行います。
これにより、人口減少対策や地域コミュニティの維持・活性化を図ります。

●事業内容

- 定住促進奨励補助金
満55歳以下の人が住宅を取得した場合に支援します。
(新築住宅)
固定資産税額の1/2相当額(上限10万円)
+子ども1人あたり1万円
(中古住宅)
上限10万円+子ども1人あたり1万円
- 若者Uターン家賃補助金
市外から転入した18歳~35歳の人が本市にある民間賃貸住宅を借りたとき、家賃の1/2(最長2年間)を支援します。
上限額(月)：単身1万5千円、複数世帯2万5千円
- 定住促進奨学資金償還補助金
本市に住んでいる人が返済している奨学金の1/2(最長10年間)を支援します。
上限額(年)：高等学校3万6千円、専門学校等4万5千円、大学等6万円
- 地域産業雇用創出チャレンジ支援事業移住支援金
東京23区に在住または勤務する人が本市に移住して、就業や創業、関係人口等の要件を満たした場合に支援金を交付します。
単身：60万円 複数世帯：100万円+子ども1人あたり100万円
- 移住促進空き家リフォーム補助金
市外から転入する人が空き家バンクの物件を買ったり借りたりした場合、リフォーム費用の1/2(上限50万円)を支援します。
※空家等管理活用支援法人の場合2/3(上限100万円)
- 空き家等情報登録制度(空き家バンク制度)
空き家情報を市のホームページに登録し、空き家を貸したい(売りたい)人と空き家を借りたい(買いたい)人をマッチングします。
- 空き家バンク登録奨励金
空き家バンクに登録し契約が成立した場合、空き家の所有者や空家等管理活用支援法人に対し5万円の奨励金を交付します。
- 空き家活用促進奨励補助金
空き家バンク制度を利用するときに、空き家の状態の調査費用(7千円)や、家財道具の片付け費用(上限10万円)、仲介手数料(上限10万円)を支援します。
- 高校生寮費等支援補助金
市内の高等学校に入学する生徒を確保し、学校の存続による地域活性化等を図るため、市内の高等学校に通学する高校生の寮費等を支援します。
1人あたり(月)：5千円
- 子育て世帯向け空き家活用事業補助金
空家等管理活用支援法人が空き家の改修や管理、相談対応、普及啓発等の取り組みを行う際に、費用の4/5を支援します。(上限720万円)

(担当：地域振興部 地域づくり推進課)

人口減少対策として、出会いから結婚、出産まで切れ目ない支援を行い、定住人口の増加と、出生数の改善に向けて婚姻数の増加を図ります。



●事業内容

<出会いに関する支援>

- お見合いシステム登録促進補助金
長崎県婚活サポートセンターが運営する会員制データマッチングシステム、「お見合いシステム」の登録料上限1万円を全額支援します。
- 婚活支援事業補助金
婚活イベントの開催経費を支援します(上限10万円)。
- 婚活イベント事業
インターネット上の仮想空間(メタバース)で婚活イベントを開催します。

<恋愛に関する支援>

- カップル応援事業
出会いから結婚までサポートする人を「雲仙市世話やき隊」として登録し、独身男女が結婚に至るまでサポートします。活動が結婚に結びついたら、世話やき隊に対して1組につき10万円を交付します。

<結婚に関する支援>

- 結婚・定住支援金(結婚支援金)
婚姻時の年齢が、ご夫婦ともに42歳未満又はご夫婦の両方もしくはいずれかが42歳以上のご夫婦で対象期間中にお子様の出生があった場合に40万円の支援金を2年間に分割して交付します。
- 結婚新生活支援事業
結婚に伴う新居費用や引っ越し費用などを支援し、新婚生活スタート時の経済的な負担を軽減します。
上限額：29歳以下の人 60万円、30歳以上39歳以下の人 30万円

<出産に関する支援>

- 結婚・定住支援金(赤ちゃん支援金)
お子様の出生があった場合に20万円の支援金を交付します。



①暮らしと安心

子どもの遊び場整備事業

1,205万円

(担当：総務部 政策企画課)

子育て環境を充実させ、本市への移住・定住を促進するため、既存施設の活用を基本とした全天候型の子どもの遊び場の整備を図ります。

●事業内容

子どもの遊び場整備実施設計業務



①暮らしと安心

障害者自立支援給付事業

20億3,395万円

(担当：健康福祉部 福祉課)

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づき、障がい者や障がい児に対して、能力や適性に応じて、自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスの給付を行います。

●事業内容

- ①自立支援給付費
(サービスの種類)
 - ・介護給付費
居宅介護、同行援護、生活介護、短期入所など
 - ・訓練等給付費
就労移行支援、就労継続支援A型・B型など
 - ・地域相談支援給付費
地域移行支援、地域定着支援
- ②補装具給付費
補装具の購入、修理等に要する費用について給付を行います。



①暮らしと安心

児童手当支給事業

6億8,274万円

(担当：健康福祉部 子ども支援課)

児童手当を支給することで、子育ての負担を軽減し、子どもたちの健やかな成長を支援します。

●事業内容

令和6年12月支給分から、下記のとおり支給要件が改正されます。

- ① 支給期間を高校生年代まで延長
- ② 所得制限の撤廃
- ③ 第3子以降の手当額を3万円に増額



①暮らしと安心

予防接種事業（健康づくり課）

4,987万円

(担当：健康福祉部 健康づくり課)

高齢者の方にインフルエンザ及び肺炎球菌のワクチン接種を行い、対象者となる方に風しんの抗体検査及びワクチン接種を行います。また、带状疱疹ワクチン接種費用を助成します。

●事業内容

- ① 高齢者インフルエンザワクチン接種
【対象者】 65歳以上
60歳以上65歳未満の慢性高度心・
肺・腎機能・免疫不全者
- ② 高齢者肺炎球菌ワクチン接種
【対象者】 65歳
60歳以上65歳未満の慢性高度心・
肺・腎機能・免疫不全者で過去に肺炎
球菌ワクチンを接種したことがない人
- ③ 風しん抗体検査及び風しんワクチン接種
【対象者】 昭和37年4月2日から昭和54年4月1
日までに生まれた男性
- ④ 带状疱疹ワクチン接種（任意接種）【新規】
【対象者】 50歳以上



①暮らしと安心

防災訓練実施事業

541万円

(担当：総務部 危機管理課)

訓練による救助活動、避難活動、応急活動などを通して、防災についての関心及び理解を深めるとともに、幅広い年齢層への防災思想の普及啓発を図るため、新たに体感型防災アトラクションやワークショップ等を実施します。

●事業内容

【実動訓練】

住民避難訓練、初期消火訓練、土のう積上げ訓練、情報収集訓練、倒壊家屋からの救出訓練、炊き出し訓練等

【体験ブース】

地震体験車、煙体験ハウス、救命救護体験、災害伝言ダイヤル体験、はしご車搭乗体験等

【展示ブース】

災害ボランティアセンター活動写真、エアートント等

【イベント】

体感型防災アトラクション、ワークショップ等



①暮らしと安心

学校給食費補助事業（小・中学校）【新規】

1億6,438万円

(担当：教育委員会 学校教育課)

保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境づくりを目指します。

●事業内容

保護者の経済的負担を軽減することを目的とし、学校給食費全額を補助することで、子育て支援を拡充し、より安心して子育てができる環境の整備を図ります。

【対象者】

雲仙市に住所がある児童生徒の保護者



②産業と交流

外国人雇用対策事業【新規】

390万円

(担当：観光商工部 商工労政課)

市内事業者の外国人雇用促進と受入環境整備を推進するため、外国人を雇用する市内事業者等が加入する外国人総合保険等（※）の保険料の一部を支援し、外国人が安心して働ける環境の整備を図ります。

●事業内容

市内事業者が技能実習生や特定技能外国人を雇用する際に負担する外国人総合保険等の保険料の一部を支援します。

※外国人が加入する健康保険の自己負担額（医療費の3割）等を保険対応するもの

- ・補助対象者：外国人を雇用する市内事業者
（商工業者、農林漁業者、社会福祉法人等）
※市内事業者の保険手続き等を代行する監理団体等を含む。
- ・補助率：1/2以内
- ・補助上限額：1人当たり2万円

②産業と交流

光り輝く雲仙カアツ事業（農業・畜産）

6,490万円

(担当：農林水産部 農林課)

雲仙市は県内トップの農業地帯であり、多種多様な農作物が栽培されています。国内外の他産地との競合に負けない足腰の強い農業を実現するため、市独自の支援策により、儲かる農業の実現と力強い産地づくりに取り組みます。

●事業内容

- スマート農業推進事業
- 農業生産振興事業
- 担い手育成支援事業
- 経営コスト削減推進事業
- 農地利活用推進事業



②産業と交流

有機農業推進事業【新規】

595万円

(担当：農林水産部 農林課)

有機農業について、生産から販売までを支援し、環境にやさしい持続可能な農業を推進します。

●事業内容

- 有機農業推進計画の策定
- 有機農業推進協議会の設立
- 流通経路の開拓のため、イベントへの参加
- 有機農業で生産された各種農産物や加工品のPR活動



②産業と交流

通作条件整備事業

1億2,200万円

(担当：農林水産部 農漁村整備課)

市が管理する広域営農団地農道において、供用開始から20年以上が経過しており、舗装においては経年劣化と多くの通行によるわだちやひび割れが生じているため、個別施設計画に基づき効率的かつ計画的な維持補修工事を実施する。

●事業内容

- ・事業期間
令和5年度～令和9年度
- ・内容
【全体計画】
 - 舗装補修工 長さ=5,090m
 - トンネル補修工 長さ=211m【R6年度計画】
 - 舗装補修工 長さ=1,344m



②産業と交流

商工業活性化推進事業

3,000万円

(担当：観光商工部 商工労政課)

本市の商工業の活性化のため、市内において創業、新規出店、既存事業の持続化、商店街等のにぎわい創出、事業承継、雇用対策、職場環境整備に取り組む商工事業者等の皆様の支援を行います。

●主な事業内容

- | | | |
|----------------|--|------------------------------------|
| ①創業支援事業 | ・補助率：1/2 | ・補助上限額：20万円 |
| ②新規出店事業 | ・補助率：1/2 | ・補助上限額：100万円
(家賃補助は、補助上限額：60万円) |
| ③持続化支援事業 | ・補助率：1/2 | ・補助上限額：15万円 |
| ④にぎわい創出事業 | ・補助率：2/3 | ・補助上限額：30万円 |
| ⑤事業承継支援事業 | ・補助率：1/2 | ・補助上限額：20万円 |
| ⑥雇用対策事業 | ・補助率：1/2 | ・補助上限額：10万円 |
| ⑦魅力ある職場づくり支援事業 | ・補助率：1/2 (資格取得補助は補助率3分の2)
・補助上限額：30万円 | |

②産業と交流

国立公園振興事業【新規】

1,962万円

(担当：観光商工部 観光物産課)

雲仙地域は昭和9年に我が国最初の国立公園として誕生し、令和6年3月16日で国立公園指定90周年となることを契機ととらえ、国立公園指定100周年に繋がる取組とするため、各種イベント等を開催します。

●事業内容

- 雲仙の歴史に関する資料のデジタルアーカイブ化（電子化）及び総合企画展
- 雲仙田代原ミヤマキリシマ保全活用プロジェクト
- 地獄フォーラムの開催
- ゼロカーボンパークの登録及び推進



(担当：建設部 建築課)

特定の用途で不特定多数の方が利用する建築物のうち大規模なもので、耐震診断実施の結果、耐震性がないと判定された建築物に対し、耐震改修工事費の補助を行い建築物の耐震化を図ります。

●事業内容

【耐震改修工事】※建替えも対象
次のうちいずれか少ない額を補助します。

- 耐震改修工事費用の11/15
- 対象面積に国が定める限度額となる
単価を乗じて算定された額の11/15



③社会基盤と環境

地球温暖化対策事業

558万円

(担当：環境水道部 環境政策課)

新規に太陽光発電設備と蓄電池設備を購入する市民・民間事業者に購入費補助を行い脱炭素社会の実現に取り組みます。

●事業内容

【補助金名】雲仙市地域脱炭素に向けた重点対策

加速化事業費補助金（個人・民間事業者）

①太陽光発電設備

個人：7万円/kW、民間事業者：5万円/kW

②蓄電池設備

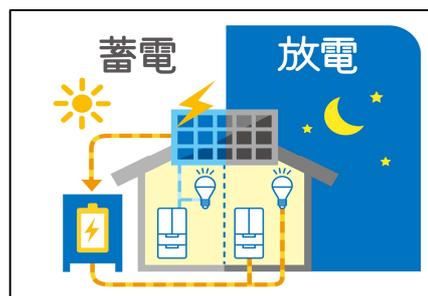
蓄電池価格の1/3

（蓄電池価格が14.1万円/kWh以下のものが対象）

③上限額 ①及び②の合計で100万円まで

④その他の条件

- ・国の制度等での売電はできません。 ・蓄電池のみの購入は補助対象外です。
- ・発電量の30%以上（民間事業者は50%以上）の自家消費が必要です。



③社会基盤と環境

地熱資源保護・活用事業

558万円

(担当：環境水道部 環境政策課)

市内の地熱資源を保護するとともに、将来にわたって持続可能な活用を図るために、条例に基づく協議会の運営を行います。

小浜温泉地域において、新たな温泉バイナリー発電事業の可能性を探るため、市所有の温泉について利活用の調査を行います。

●事業内容

①雲仙市地熱資源保護活用協議会を開催します。
(年2回)

②市所有の温泉における新たな温泉発電事業の可能性について調査し、資料や現地踏査に基づいて最適な発電規模や概算工事費及び経済性評価等の検討を行い、事業として収益性を考慮した基本計画を作成します。



未利用のまま海に流れる温泉水

③社会基盤と環境

猫不妊・去勢手術費助成事業【新規】

36万円

(担当：環境水道部 環境政策課)

飼い主のいない猫（野良猫）の繁殖を抑制し、猫の殺処分を減少させるとともに生活環境への被害を防止するため、野良猫の不妊又は去勢手術に要する費用の一部を補助します。

●事業内容

- ①対象となる猫：雲仙市内に生息する飼い主のいない猫
- ②補助対象者：市内に住所を有する個人又は市内に事務所を有する団体
- ③補助額：手術費から申請者の自己負担2,000円を引いた額
【上限額】メス猫：1頭につき18,000円
オス猫：1頭につき 8,000円
※申請者が獣医師に1頭につき2,000円を支払い、申請者から委任された獣医師が市へ請求します。
- ④手術内容：メス猫 卵巣摘出術又は卵巣子宮摘出術
オス猫 精巣摘出術



③社会基盤と環境

地域情報化推進事業

919万円

(担当：総務部 行革推進課)

日常生活において、市民の誰もが情報化社会の恩恵を受けられるように、デジタル化を推進します。

●事業内容

- オンライン学習サービスを中心とした学習機会の提供
- 公民館等を拠点とした相談窓口によるデジタル活用支援の実施
- 情報機器に不慣れな方を対象としたスマホ教室やデジタル講習会の開催
- 誰でも自由にデジタルを中心としたスキルを学べる拠点「サードプレイス」として、公民館や民間施設にパソコンやネットワークの学習設備の設置
- 市ホームページにおいて、日常生活や行政手続き等の疑問に迅速かつ柔軟に対応するAIチャットボットの活用

(担当：建設部 建築課)

老朽化等による危険な空き家・空き建築物の除却を行う方に対し、除却費の一部を補助することにより、安全・安心な住環境づくりを促進します。

●事業内容

〈補助対象建築物〉

現在、使用されていない木造又は鉄骨造で、国が定める
評点100点以上となる危険な空き家及び空き建築物
空き建築物にあつては、上記に加え、周辺の住環境を悪化
させ、若しくは公衆の安全の確保に著しい支障をきたすお
それがあるもの

〈補助対象者〉

- ① 建築物の所有者
- ② 相続人
- ③ ①又は②の方から除却について同意を受けた方

〈補助対象経費〉

次のいずれか少ない額

- ①解体・運搬・処分に要する費用の8/10
- ②国が定める除却工事費により算定した額の8/10

〈補助金額〉

空き家 補助対象経費の1/2 (上限額：50万円)
空き建築物 補助対象経費の1/4 (上限額：20万円)

注：同一敷地に、空き家、空き建築物が別の建物として
ある場合や、以前、老朽危険空家除却費補助金の交
付を受けた方についても、それぞれの建物ごとに補
助金申請は可能です。

なお、補助対象となるかの事前調査は、随時行って
おりますので、建築課へお問合わせ下さい。

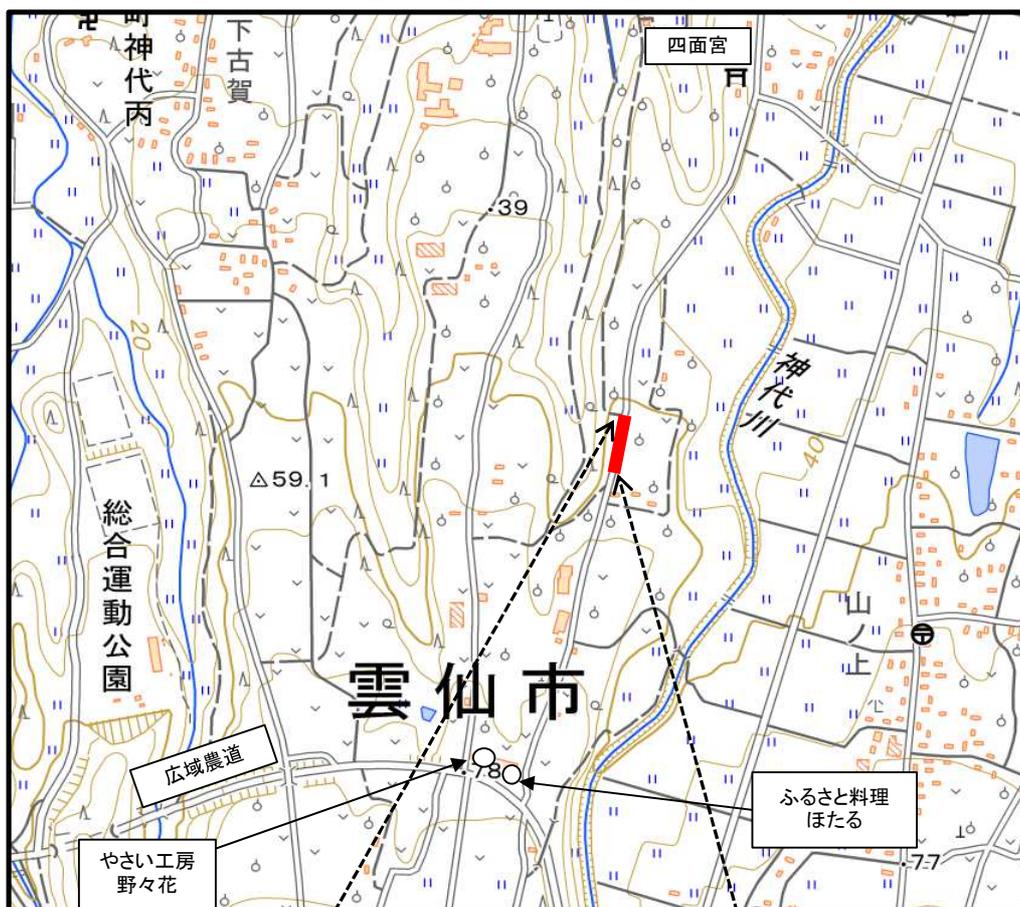


③社会基盤と環境

市道国見 上古賀1号本線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

- 事業内容 測量を委託して、必要な図面などを作成



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側



終点側



③社会基盤と環境

市道瑞穂 伊古西原 1号線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 34m



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側



終点側



③社会基盤と環境

市道吾妻 菟塚・日暮坂線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 110m



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側



終点側

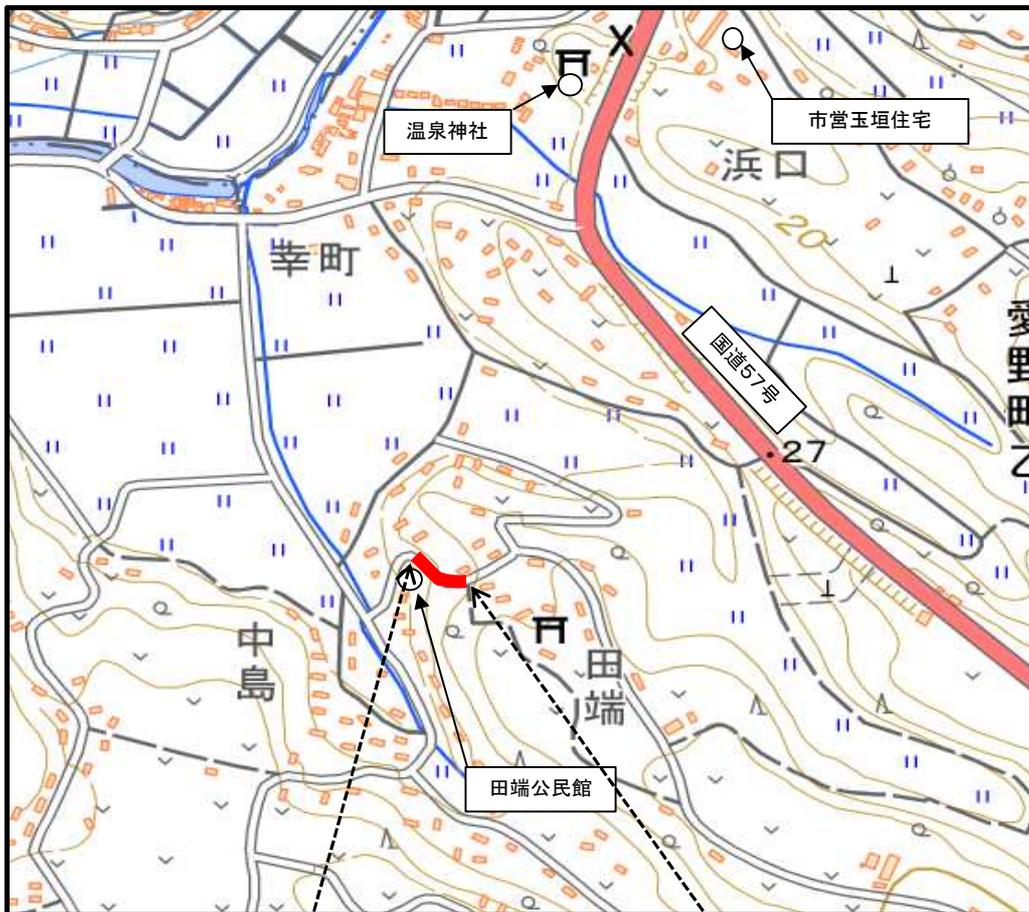


③社会基盤と環境

市道愛野 田端線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 90m



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側



終点側

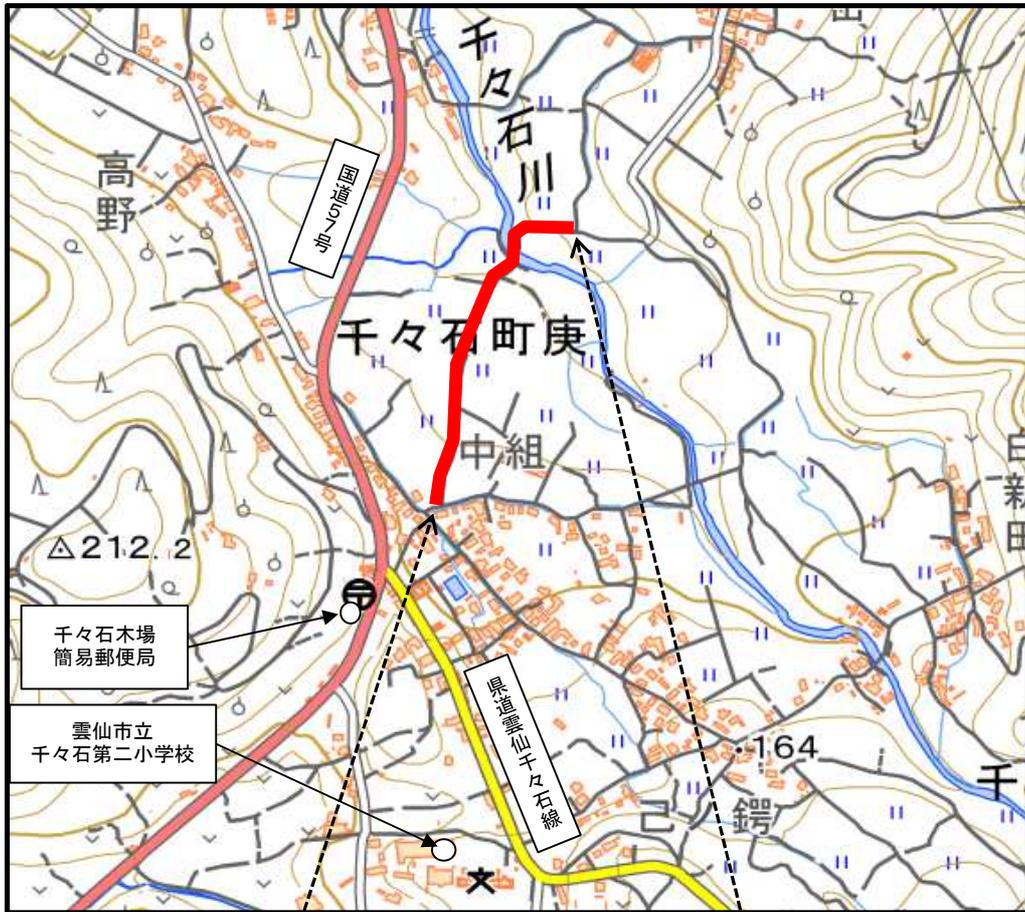


③社会基盤と環境

市道千々石 中原線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

- 事業内容 測量を委託して、必要な図面などを作成



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側



終点側



③社会基盤と環境

市道小浜 日見線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 76m



(出典：国土地理院 地理院地図)

終点側



起点側



③社会基盤と環境

市道南串山 京泊打越線改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

●事業内容 道路改良工事 長さ 50m



(出典：国土地理院 地理院地図)

終点側



起点側



③社会基盤と環境

小浜 普通河川湯ノ里川改良事業

(担当：建設部 道路河川課)

- 事業内容 河川改修工事 長さ 60m



(出典：国土地理院 地理院地図)

起点側



終点側

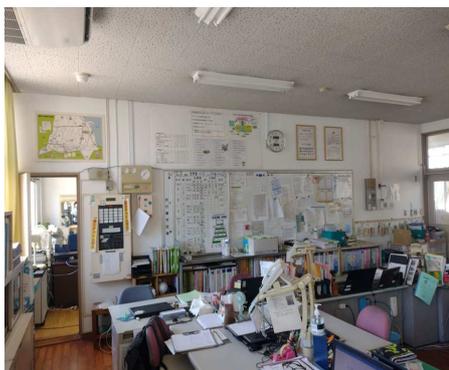


(担当：教育委員会 総務課)

小・中学校における教育環境の向上及び安全安心な施設の整備に向け、屋上防水及び外壁等の施設の改修を行います。

●事業内容

- ①小・中学校施設大規模改修事業（8件）
 - ・土黒小学校屋内運動場建具等改修工事実施設計業務
 - ・愛野小学校職員室拡張工事
 - ・愛野小学校放送設備改修工事設計業務
 - ・国見中学校クラブハウス・渡り廊下改修工事実施設計業務
 - ・国見中学校物理室改修工事
 - ・国見中学校校舎トイレ洋式便器取替（二期）工事
 - ・吾妻中学校校舎トイレ改修工事
 - ・千々石中学校給水設備改修工事
- ②小・中学校施設単独整備事業（25件）
 - ・川床小学校運動場フェンス改修工事実施設計業務ほか
 - ・児童生徒の危険回避や教育環境改善のため施設等の修繕
- ③小学校施設環境改善交付金事業（1件）
 - ・小浜小学校校舎外壁改修工事実施設計業務



愛野小学校職員室



国見中学校物理室

④人財と郷土

小・中学校教育環境整備事業

3,778万円

(担当：教育委員会 総務課)

学校において、児童生徒がタブレット端末を用いた授業を効果的に行えるよう、学習支援ソフト等の更新を図るとともに、老朽化した電子黒板の更新を行います。

●事業内容

児童・生徒に貸与するタブレット端末で使用する学習支援ソフトや教室で使用する電子黒板の更新、ネットワーク機器の保守等を行います。

<更新するソフト等>

○タブレット端末用学習ドリルや問題集ソフト

<情報システム関連業務>

○老朽化した電子黒板の更新

○ネットワーク機器等保守

○老朽化した職員室ファイルサーバの更新



④人財と郷土

社会体育施設整備事業

7,229万円

(担当：教育委員会 スポーツ振興課)

各種スポーツやレクリエーションの拠点として活用されている社会体育施設の改修等を行い、利用者の利便性と安全性の向上を図ります。

●事業内容

○愛野運動公園グラウンド照明改修工事

○みずほすこやかランドテニスコート改修工事

ほか



⑤協働と戦略

外国人相談窓口事業【新規】

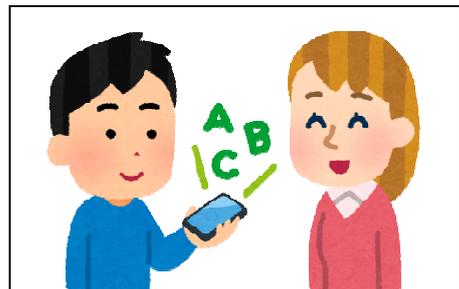
182万円

(担当：地域振興部 地域づくり推進課)

市内に在住する外国人からの相談に対応するため、多言語翻訳機を導入し、外国人相談窓口を開設します。

●事業内容

- 《開設時期》 令和6年9月頃（予定）
- 《開設場所》 雲仙市役所 地域づくり推進課内
- 《受付日時》 月～金（土日祝日を除く）
8時30分～17時15分



⑤協働と戦略

シティプロモーション推進事業

1,688万円

(担当：総務部 政策企画課)

広報紙やホームページ、各総合支所に設置した電子看板（デジタルサイネージ）などの媒体に加え、民間事業者が発信する多様な媒体を活用して情報発信を行います。市民が「住みたい」「いつか戻って来たい」など、雲仙市民で良かったと誇りに思ってもらえるような情報発信を展開することで、本市の知名度アップと魅力向上を図ります。

●事業内容

- 動画、紙面媒体を活用した情報発信
雲仙市在住で働く若者をピックアップして毎月1人を紹介。インタビュー動画と記事を放送、紙面掲載します。
- ラジオを活用した情報発信
民放ラジオに雲仙市の時間枠を設け、定期的にイベント情報などを発信します。
- シティプロモーション事業
民間事業者が持つ発信力を活用したイベント、企画を展開します。



プロカメラマンなどを招いたテレビ番組の写真対決企画。公開収録では、観客が優秀作品を決定！

⑤協働と戦略

会計管理事務費

1,793万円

(担当：会計課)

市民の利便性向上のため、各種証明書の交付手数料等を市役所窓口（セミセルフレジ）で支払う際に、現金以外でも支払いが出来るようにキャッシュレス決済を導入します。

●事業内容

- ・導入窓口：本庁及び各総合支所
- ・対象科目：戸籍手数料
住基・印鑑証明等手数料
税務諸証明手数料
自動車臨時運行許可手数料



⑤協働と戦略

庁舎施設整備事業

3,846万円

(担当：財務部 財産管理課)

市役所本庁舎の設備を改修し、安全で快適な執務環境を形成することで、行政効率の向上及び市民の利便性を図ります。

本年度については、脱炭素化を推進するため、本庁舎電灯をLED化することにより、消費電力及び電気料金の節減を図ります。

●事業内容

雲仙市役所本庁舎の電灯をLED化する改修工事を行います。



⑤協働と戦略

ふるさと応援推進事業

17億4,284万円

(担当：観光商工部 観光物産課)

雲仙市のまちづくりを応援したいとの意志により頂いた寄附金（ふるさと納税）を活用し、各種事業を展開することにより、特色あるふるさとづくりと協働のまちづくりに寄与するとともに、市の知名度向上や地元産業の活性化を図ります。

●事業内容

ふるさと納税による寄附を推進することにより、ご寄附くださる方の想いをまちづくりに活かすとともに、貴重な財源として活用します。

〈主な取組〉

- 返礼品の充実
- ふるさと納税ポータルサイトの増設



⑤協働と戦略

行政デジタル化推進事業

3,925万円

(担当：総務部 行革推進課)

デジタル技術を活用し、定型的業務を中心とした市役所業務を効率化することで、職員が住民サービスに向き合う時間を増やし、サービスの向上を図ります。

●事業内容

- 職員の定型的業務の効率化を図る生成AI（※）の導入
 - 課内や市役所内の情報共有や見える化を進め、業務効率化を図るシステムの導入
- （※）生成AI・・・与えられたデータやパターンから新たなデータを生成する能力を持つ技術

3 ゼロ予算事業

ゼロ予算事業とは、職員の創意工夫によって、既存の人材や施設等をうまく活用し、特段の予算を必要としない事業のことです。
令和6年度は、16事業を予定しています。

①相談窓口（1事業）

②出前講座など（7事業）

③維持管理（3事業）

④その他（5事業）



区分	事業名	事業内容	担当課
相談窓口	遺言・契約等法律相談所開設事業	公証人が、奇数月の第2火曜日に相談所を開設し、遺言、相続、離婚、養育費などの相談に応じます。	地域づくり推進課
出前講座	雲仙市の台所事情出前講座	自治会などからの要請に応じて、財政運営・財政状況の出前講座を行います。	財政課
出前講座	自主防災組織出前講座	自治会などからの要請に応じて、自主防災組織の活動支援や防災に関する出前講座を行います。	危機管理課
出前講座	租税教室事業	雲仙市内にある小中高校を訪問し、税のしくみや役割などを、ビデオ・クイズなどを交えてわかりやすく説明します。	税務課
出前講座	福祉介護出前講座	自治会・団体などを対象とした、福祉サービスや介護予防などに関する出前講座を行います。	福祉課
出前講座	環境学習出前講座	自治会・学校などの要請に応じて、正しいごみの分別や、リサイクルの推進など、ごみに関する説明会を行います。	環境政策課
出前講座	農業出前講座	10人以上で構成された自治会・団体等への農業講座メニューの中から、希望する出前講座を行います。	農林課
出前講座	未来の担い手事業	市内小中学校を訪問して、雲仙市の主幹産業である農林水産業に関する講座、食育活動を行います。	農林課 農漁村整備課
維持管理	雲仙グリーンロード点検事業	雲仙グリーンロードの点検、鳥獣死骸処理を行います。	農漁村整備課
維持管理	市道吾妻平木場線道路公園除草事業	市道吾妻平木場線道路公園（干拓堤防道路との交差点）の除草作業などを行います。	監理課 道路河川課
維持管理	環境美化事業	庁舎周辺の除草作業や空き缶、ごみなどの清掃作業を行います。	各総合支所
その他	グループ交流促進事業	「人も企業もつながる」をコンセプトに、県内企業・団体に所属する独身の方々のグループ交流を促進します。	地域づくり推進課
その他	時間外窓口交付事業	予約された人に対して、住民票、税証明書などの時間外の交付を行います。	総合窓口課 税務課
その他	古着や本の無料配布	ストックハウスにて回収した、状態の良い古着や本などを、「雲仙市産業まつり」会場で無料配布します。	環境政策課
その他	企業メール配信事業	商工業などに関する情報を月1回程度、登録業者へ電子メールによる情報配信を行います。	商工労政課
その他	市内小中高校への選挙器材貸出事業	市内小中高校の生徒会選挙時などに、実際の選挙で使用する器材を貸し出し、投票への意識向上を図ります。	選挙管理委員会

4 資料編

- (1) 雲仙市の通知表（県内13市財政状況比較表）
- (2) 地方消費税交付金(社会保障財源化分)を財源とした
社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費
- (3) 「ふるさと納税寄附金」の使い道



(1) 雲仙市の通知表 (県内13市財政状況比較表(令和4年度決算ベース))

	歳出額		標準財政規模		財政力指数	
	市名	百万円	市名	百万円	市名	指数
1	長崎市	231,943	長崎市	100,145	大村市	0.62
2	佐世保市	133,196	佐世保市	60,048	長崎市	0.58
3	諫早市	72,488	諫早市	34,530	諫早市	0.57
4	大村市	61,941	大村市	21,540	松浦市	0.57
5	南島原市	33,713	南島原市	17,276	佐世保市	0.53
6	五島市	33,470	対馬市	17,015	島原市	0.43
7	対馬市	32,961	五島市	16,546	西海市	0.29
8	雲仙市	31,992	雲仙市	16,222	雲仙市	0.28
9	平戸市	25,992	平戸市	13,205	南島原市	0.25
10	島原市	24,939	杵岐市	12,651	平戸市	0.24
11	杵岐市	23,445	西海市	12,060	五島市	0.24
12	西海市	23,056	島原市	12,007	杵岐市	0.22
13	松浦市	20,175	松浦市	9,295	対馬市	0.20



	経常収支比率		実質公債費比率		将来負担比率		地方債現在高 (対標財率が低い順)			積立金現在高 (対標財率が高い順)		
	市名	%	市名	%	市名	%	市名	百万円	対標財 %	市名	百万円	対標財 %
1	西海市	85.6	南島原市	-4.9	雲仙市	-	南島原市	20,299	117.5	西海市	17,329	143.7
2	平戸市	87.4	西海市	-0.9	佐世保市	-	諫早市	47,537	137.7	雲仙市	22,071	136.1
3	雲仙市	87.9	平戸市	1.7	島原市	-	雲仙市	22,593	139.3	大村市	28,040	130.2
4	対馬市	88.6	雲仙市	4.2	諫早市	-	西海市	19,719	163.5	平戸市	14,238	107.8
5	南島原市	88.9	島原市	4.5	大村市	-	佐世保市	104,589	174.2	五島市	16,297	98.5
6	松浦市	91.3	佐世保市	4.7	平戸市	-	大村市	40,346	187.3	南島原市	16,611	96.1
7	杵岐市	91.8	杵岐市	6.5	五島市	-	島原市	22,740	189.4	対馬市	16,359	96.1
8	五島市	92.4	諫早市	7.0	西海市	-	平戸市	25,708	194.7	松浦市	7,719	83.0
9	佐世保市	93.0	対馬市	7.7	南島原市	-	松浦市	18,155	195.3	杵岐市	10,012	79.1
10	島原市	95.1	五島市	8.3	長崎市	103.9	杵岐市	25,144	198.7	諫早市	23,887	69.2
11	諫早市	95.7	大村市	8.9	松浦市	37.5	五島市	37,088	224.1	島原市	7,218	60.1
12	大村市	95.9	長崎市	9.7	杵岐市	18.6	対馬市	41,339	243.0	長崎市	42,828	42.8
13	長崎市	97.2	松浦市	10.7	対馬市	14.8	長崎市	272,864	272.5	佐世保市	22,548	37.6

※対標財とは、標準財政規模に対する比率のことです。

●標準財政規模とは

地方公共団体が通常の状態で毎年経常的に収入が見込まれる一般財源(自由に使えるお金)の総額のことです。

●財政力指数とは

財政力の強弱を示すものであり、一般財源必要額に対して市税等の一般財源収入額がどの程度確保されているかを測るもので、指数が高いほど裕福な団体であり、1以上の地方公共団体は普通交付税の不交付団体となります。

●経常収支比率とは

人件費・扶助費・公債費などのように毎年度経常的に支出する経費に、地方税・地方交付税などの経常的な一般財源収入がどの程度充てられているかを示す比率で、この指数が小さいほど、財政的に弾力性があるとされます。

●実質公債費比率とは

借入金(市債)の返済額及びこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示す比率で、この比率が高まるほど、財政の弾力性が低下します。

●将来負担比率とは

地方公共団体の一般会計の借入金(市債)や将来支払っていく可能性のある負担などの、現時点における残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す比率です。

●地方債現在高とは

地方公共団体が借り入れてきた地方債の累積額を表しており、これにより、今どれくらい未返済の借金が残っているかがわかります。

●積立金現在高とは

地方公共団体が将来必要となる財源に充てるため積み立てた資金(基金)の累積額であり、いわゆる貯蓄(貯金)と同じ意味合いで、今どれくらい蓄えがあるかがわかります。

(2) 地方消費税交付金(社会保障財源化分)を財源とした社会保障4経費 その他社会保障施策に要する経費

「社会保障4経費」とは、社会保障制度として確立されている「年金」「医療」「介護」並びに「子ども・子育て支援」のための施策に要する費用のことです。平成26年4月1日から施行された消費税及び地方消費税の税率引き上げに伴い、増収となった地方消費税交付金については、その用途を明確化し、これらの社会保障経費に充てるものとされています。

令和6年度一般会計当初予算における社会保障経費への充当状況については、下記のとおりです。

(歳入)

地方消費税交付金(社会保障財源化分) 517,452 千円

(歳出)

社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 11,678,107 千円

【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】

(単位：千円)

事業名	令和6年度 当初予算額	財 源 内 訳				
		特 定 財 源			一 般 財 源	
		国県支出金	地方債	その他	社会保障財源化分の 地方消費税交付金	その他
社会福祉	9,350,330	5,283,865	53,100	367,409	358,038	3,287,918
社会保険	1,377,323	401,044	0	20,534	93,856	861,889
保健衛生	950,454	21,068	16,300	245,494	65,558	602,034
合 計	11,678,107	5,705,977	69,400	633,437	517,452	4,751,841

● 『社会福祉事業』とは

生計の困難な方や心身に障害のある方に対する援助など、国民の生存権を確保することによって、国民生活の内容を豊かにする事業を意味します。

【具体例】生活保護、児童福祉、母子福祉、高齢者福祉、障害者福祉など

● 『社会保険事業』とは

法令に基づき実施される国民健康保険、年金などの制度に関する事業を意味します。

【具体例】国民健康保険、介護保険、年金など

● 『保健衛生事業』とは

国民の健康を保つための事業を意味します。

【具体例】医療に係る施策、感染症その他の疾病の予防対策、健康増進対策など

(3) 令和6年度当初予算における「ふるさと納税寄附金」の使い道

「ふるさと納税」とは、生まれ育ったふるさとや好きな自治体を、寄附を通じて応援できる制度です。寄附をすることで所得税・住民税の控除を受けられるほか、自治体のまちづくりを支援することができます。

本市では、ふるさと納税による寄附金の使い道について、雲仙市総合計画の基本方針に基づく下記のメニューを設定し、寄附の際にその使い道を選んでいただくことで、寄附者の皆さまの意向に沿ったまちづくりを行っています。

令和5年1月～12月にかけて、全国各地から9億7,136万2千円（83,954件）もの寄附金をいただきました。この寄附金は「雲仙市ふるさと応援基金」に積み立て、令和6年度において下記の事業の財源として活用させていただきます（最終的な活用実績は、年度終了後に市のホームページにて公開します）。

【令和6年度雲仙市当初予算 ふるさと納税寄附金活用予定事業】

基本方針		寄附額	活用予定事業
①	暮らしと安心 安心して子どもを産み育てる まちづくりと健康で安全な暮らしづくり	5億39万7千円	<ul style="list-style-type: none"> 定住促進対策事業（担当課：地域づくり推進課） 結婚応援事業（担当課：〃） 予防接種事業（子ども支援課）（担当課：子ども支援課） 妊婦乳幼児健診事業（担当課：〃） 保育園等副食費助成事業（担当課：〃） 福祉医療費支給事業（担当課：〃） 民間保育所障害児保育事業（担当課：〃） 民間教育・保育施設給付事業（担当課：〃） 健康診査事業（担当課：健康づくり課） 予防接種事業（健康づくり課）（担当課：〃）
②	産業と交流 雇用を生み出す産業づくりと 人を呼び込む観光地域づくり	9,995万8千円	<ul style="list-style-type: none"> 認定農業者活動支援事業（担当課：農林課） 農地保全事業（担当課：農漁村整備課） 雲仙観光局補助金（担当課：観光物産課） 商工業活性化推進事業（担当課：商工労政課）
③	社会基盤と環境 社会基盤の整備と自然環境と 調和したまちづくり	5,754万1千円	<ul style="list-style-type: none"> 道路橋りょう維持管理費（担当課：道路河川課） 不法投棄対策事業（担当課：環境政策課）
④	人財と郷土 将来を担う人財づくりと歴史 と文化が輝く郷土づくり	3,947万1千円	<ul style="list-style-type: none"> スクールサポーター配置事業（小学校）（担当課：学校教育課） スクールサポーター配置事業（中学校）（担当課：〃） 読書活動振興事業（担当課：生涯学習課）
⑤	協働と戦略 市民一人ひとりが主役の協働 のまちづくりと効率的で戦略 性をもった行財政運営	932万円	<ul style="list-style-type: none"> 自治集会所等整備費補助金（担当課：地域づくり推進課） ふるさと応援推進事業（担当課：観光物産課）
⑥	その他（※）	2億6,467万5千円	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの遊び場整備事業（担当課：政策企画課） 災害対策事務費（担当課：危機管理課） 光り輝く雲仙カアップ事業（担当課：農林課） 雲仙市産業まつり等開催事業（担当課：観光物産課） 観光総務事務費（担当課：〃） 雲仙観光局補助金（担当課：〃） 国立公園振興事業（担当課：〃） 商工振興費補助金（担当課：商工労政課） 道路橋りょう維持管理費（担当課：道路河川課） 道路河川公共土木事業（担当課：〃） 学校給食費補助事業（小学校）（担当課：学校教育課） 学校給食費補助事業（中学校）（担当課：〃） 読書活動振興事業（担当課：生涯学習課）

※⑥「その他」に寄附をいただいた分については、①～⑤の事業の中から市長がどの事業に活用するかを決定しています。

令和5年寄附額 合計	9億7,136万2千円	寄附件数：83,954件
------------	-------------	--------------

【参考】

令和4年 寄附額	令和3年 寄附額
7億5,735万5千円	6億1,090万1千円

寄附をいただいた皆さまの雲仙市への温かいご支援に心からお礼申し上げます。